

目標の達成状況等に対する所見

＜情報基盤整備＞

必須項目である地域の情報受発信量は、ケーブルテレビ事業の供用開始に伴い、農業情報を含む通信の受発信量が増加し目標が達成できた。

選択項目についても、すべての項目について実績が目標を上回り達成できた。

＜基盤整備＞

農道整備に伴ない農業生産環境が整ったことにより、条件整備された農地面積が増加し目標が達成できた。

都市住民との交流は、農道橋の機能が回復し交通の利便性が確保され、棚田オーナー制度を積極的に行うことが可能となり目標が達成できた。

2 事業の達成状況

(1) ソフト事業

①遊休農地対策以外（平成17年度実施分）

メニュー名	実施予定内容	実施内容	施策の効果	施策の効果に関するコメント
なし				

②遊休農地対策

メニュー名	実施計画内容（事業量）	実施期間	評価時実績（事業量）	達成率	達成率が悪い場合その理由
なし		平成 ～ 年			
なし		平成 ～ 年			
なし		平成 ～ 年			

実施計画の達成状況等に対する所見

なし

(2) ハード事業

メニュー名	実施計画内容（事業量）	実施期間	評価時実績（事業量）	達成率	達成率が悪い場合その理由
情報基盤整備	光伝送路延長 460km	平成 19 ～ 21年	光伝送路延長 460km	100%	
基盤整備促進	橋梁塗装・支承修繕 243.7m	平成 21 ～ 22年	橋梁塗装・支承修繕 243.7m	100%	

整備計画の達成状況等に対する所見

計画どおり実施した。

(3) 供用開始日、事業の効果等（ソフト・ハード事業共通）

情報基盤整備工事が完了し、平成22年4月から供用開始している。高速インターネットの加入者も増加して、テレビの難視聴地域も解消した。また、農道整備に伴ない、農業生産環境が整い農産物等の物流が活発となったことにより、条件整備された農地面積が増加した。さらに、都市住民との交流は、農道橋の機能が回復し交通の利便性が確保されたため、棚田オーナー制度を積極的に行うことが可能となり、計画どおり年4回の交流を行っている。

※ その他の目標等を定めている場合その達成状況

目標	評価時実績	算定根拠	達成率	達成率が悪い場合その理由
なし				
なし				
なし				

目標の達成状況等に対する所見

なし

3 総合評価

目標並びに事業の達成状況ともに計画どおり達成した。